

木材需給動向について (全国)

2024年4月
林野庁

全国の木材需給動向について、
林野庁ウェブサイト（下記URL）にて
毎月資料を更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyougikai.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



さらに・・・

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」
木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計
データや、林野庁の施策に関するトピックス、セ
ミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月
中旬に更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



目次

1 価格の動向

(1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ ヒノキ（全国）

(2) 製品価格

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国）

(2) 合板（全国）

(3) チップ（全国）

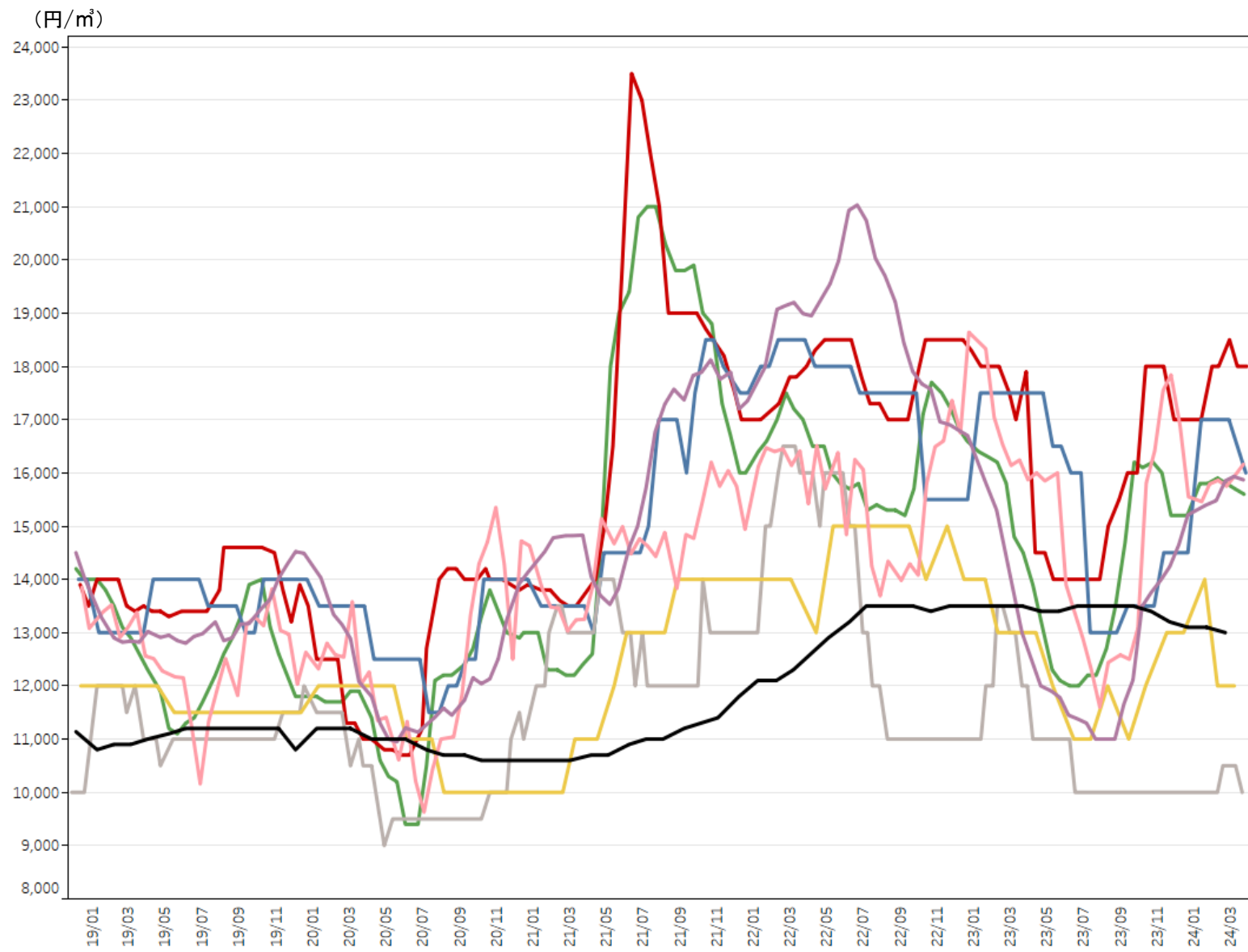
3 住宅着工戸数の動向

4 木材輸出量

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)

ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

• 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、10,000円~18,000円/m³となっている。



(単位：円/m³)

都道府県	2024年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	13,000	13,500	96%
秋田県	15,870	13,000	122%
栃木県	16,160	16,240	100%
長野県	12,000	13,000	92%
岡山県	10,000	12,000	83%
高知県	16,000	17,500	91%
熊本県	18,000	17,900	101%
宮崎県	15,600	14,500	108%

※北海道については2月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については3月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

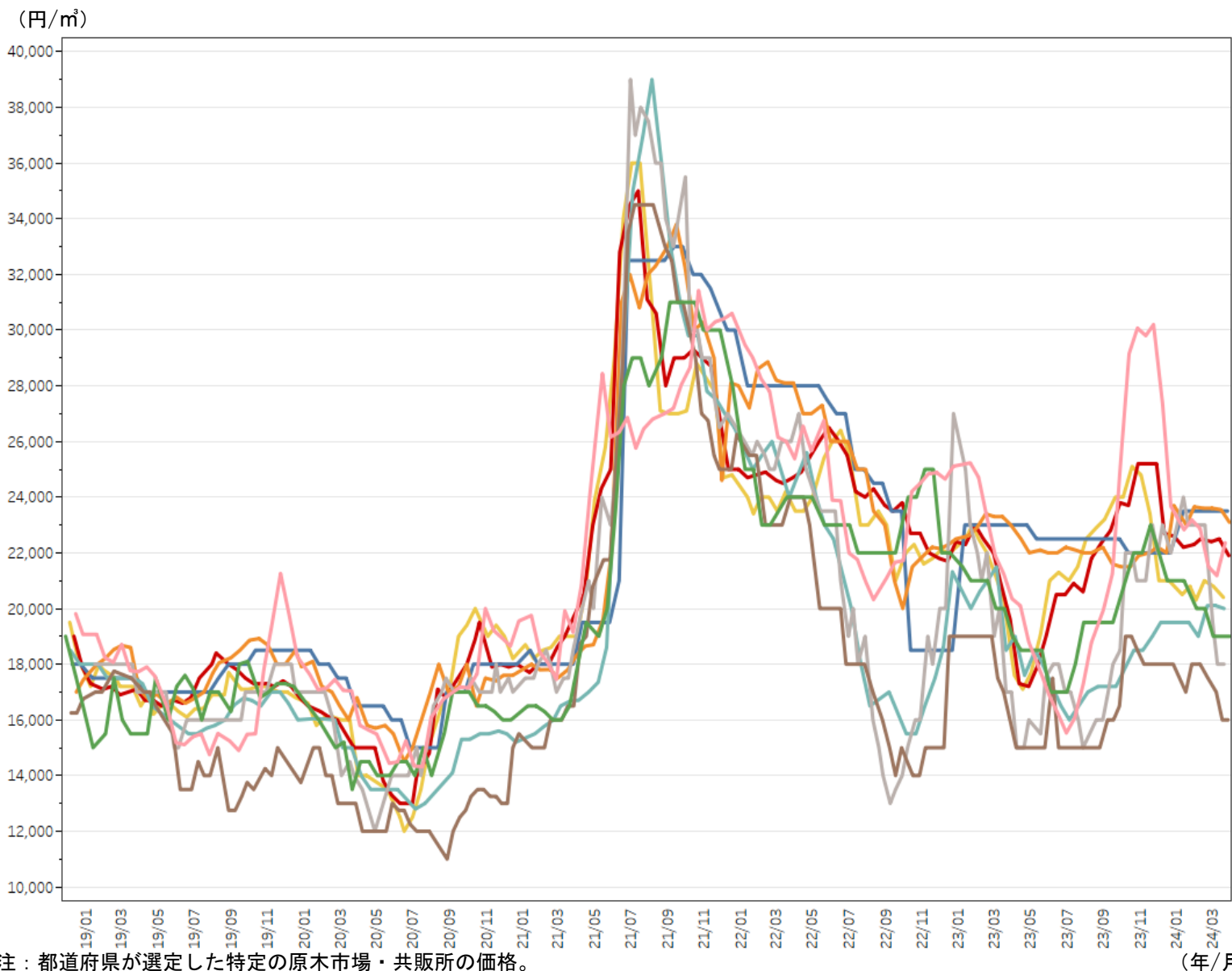
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(年/月)

資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、16,000円~23,500円/m³となっている。



(単位：円/m³)

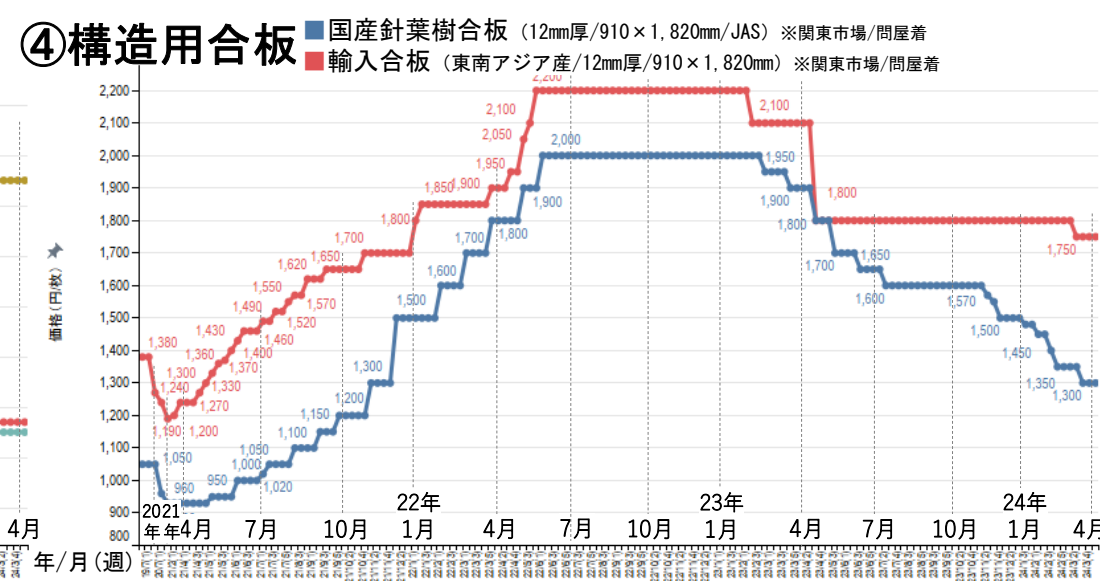
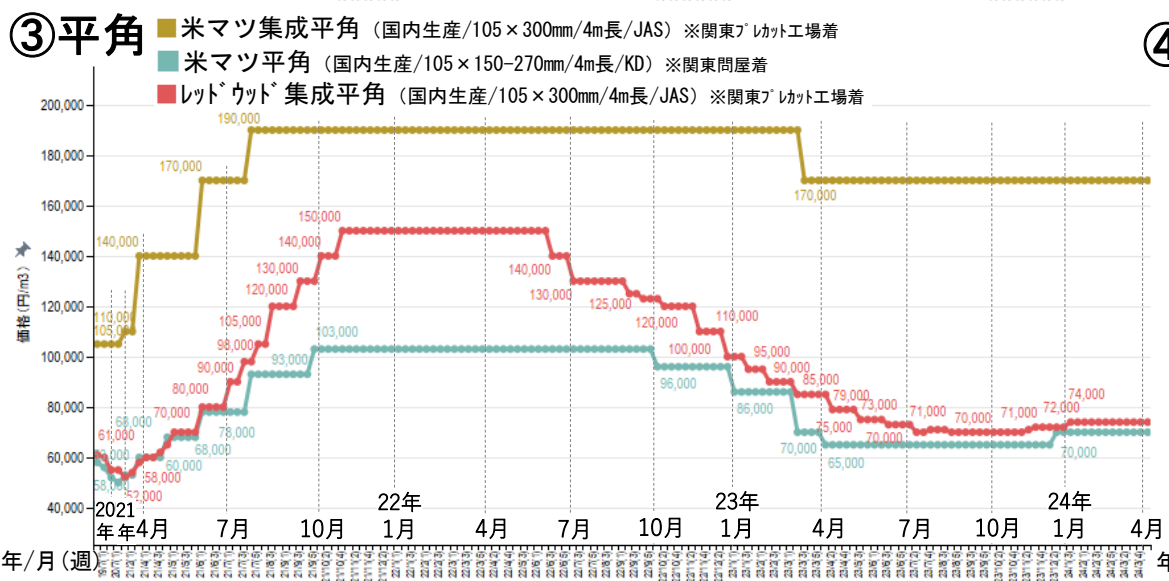
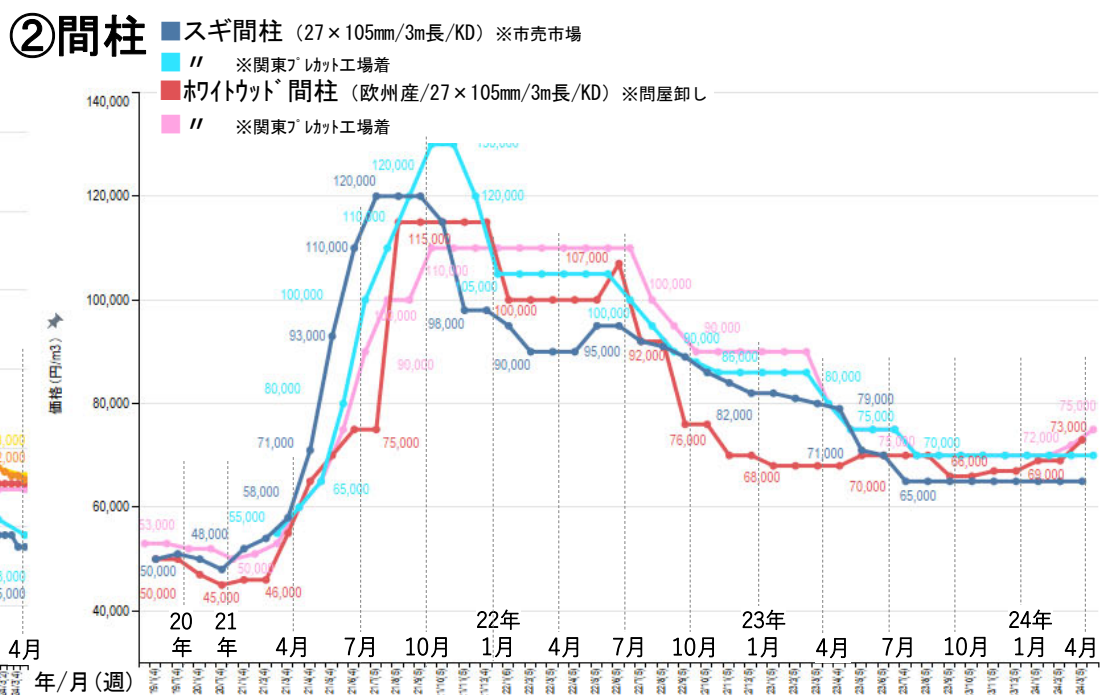
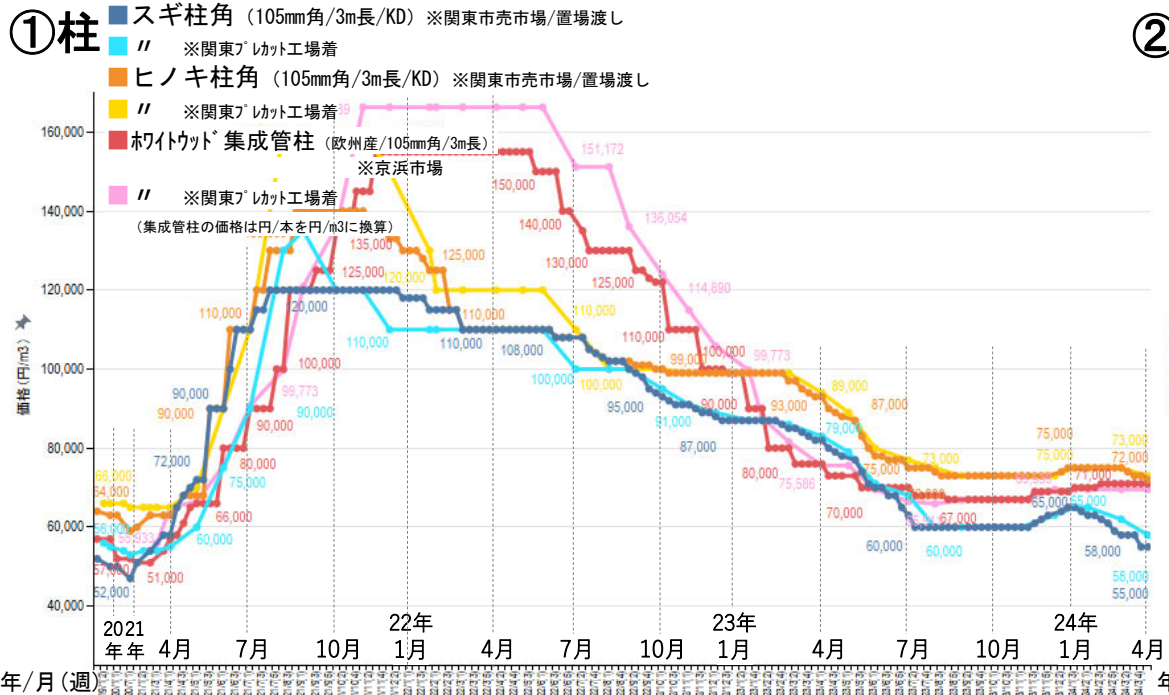
都道府県	2024年直近*	前年同期	前年同期比
栃木県	22,360	21,250	105%
静岡県	19,000	19,000	100%
兵庫県	16,000	17,000	94%
岡山県	18,000	17,000	106%
広島県	20,000	18,500	108%
愛媛県	23,100	23,000	100%
高知県	23,500	23,000	102%
熊本県	21,900	19,600	112%
大分県	20,400	20,300	100%

※各県3月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

(2) 製品価格

- 令和3(2021)年は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。令和4(2022)年以降、柱、間柱、平角の価格は長期的に下落傾向であったが、令和5年夏頃より概ね横ばいで推移。構造用合板の価格は、令和5(2023)年以降、下落傾向。

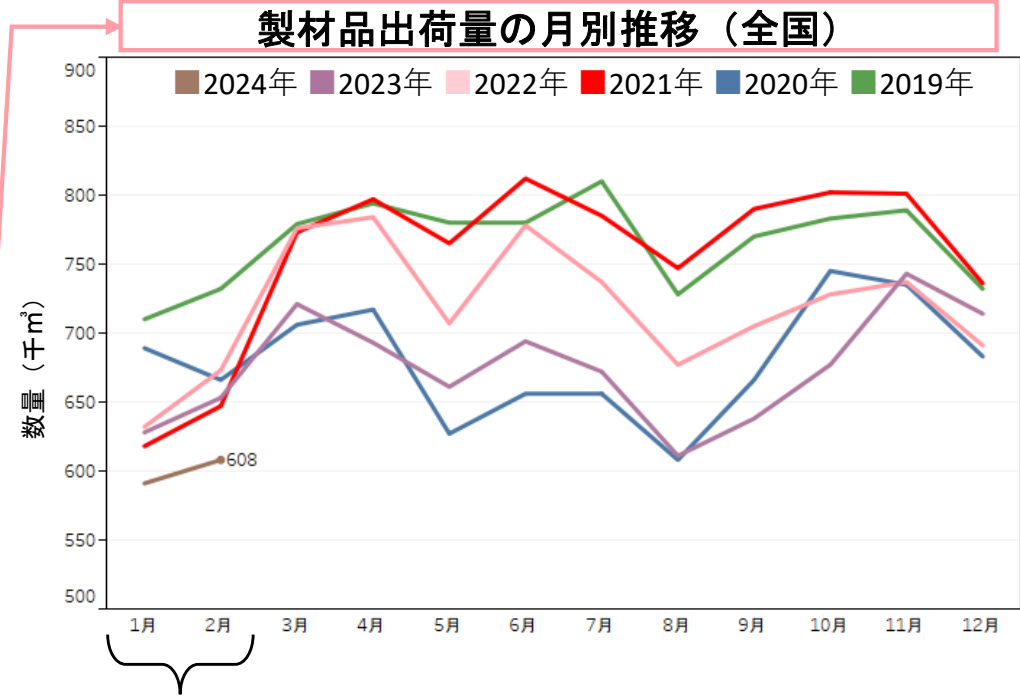
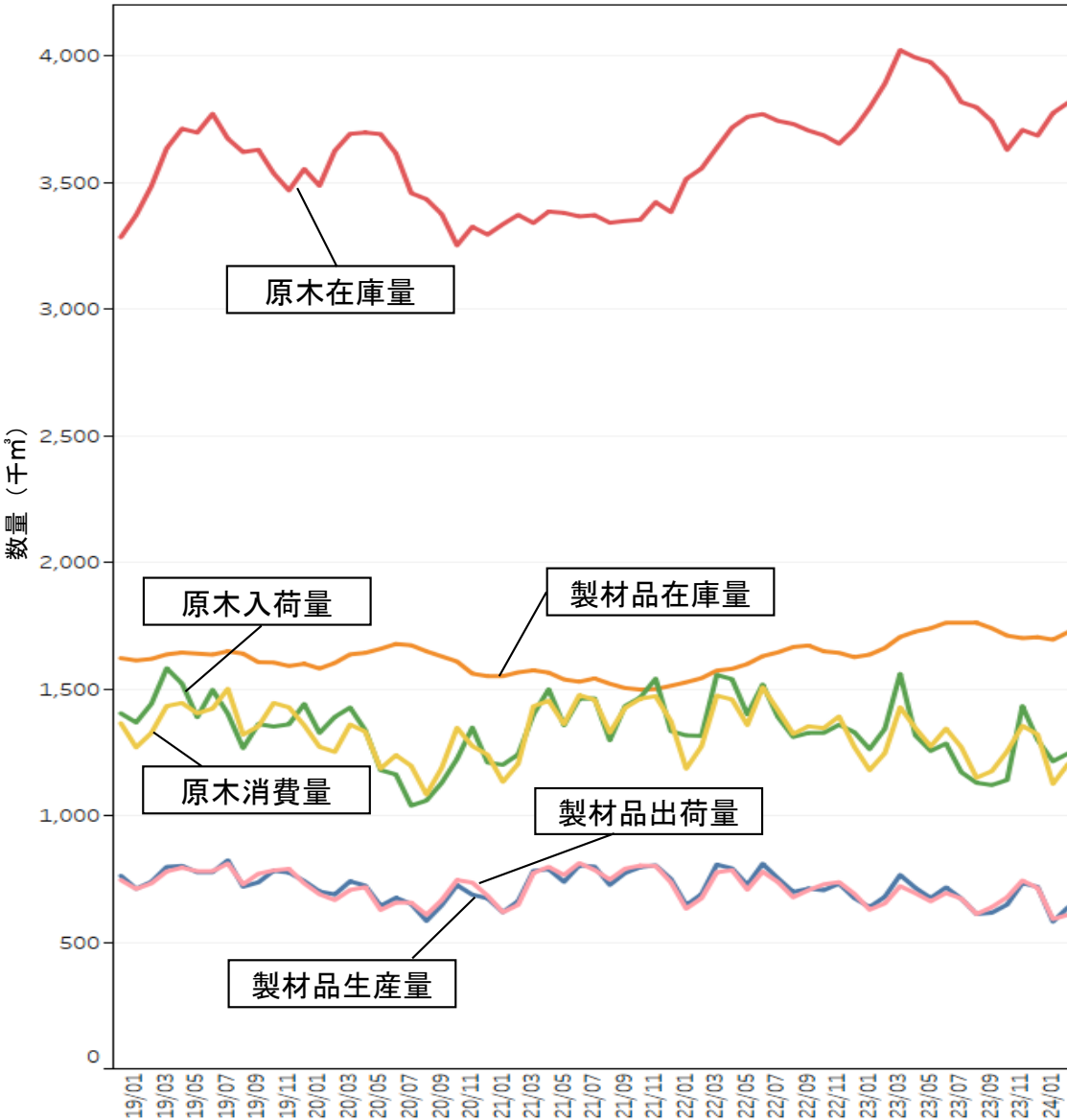


資料：①③④木材建材ウイクリー、①②日刊木材新聞

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材 (全国)

- 2024年1～2月の原木の入荷量は2,459千m³ (2019年比88%)。
- 同様に製材品の出荷量は1,199千m³ (2019年比83%)。

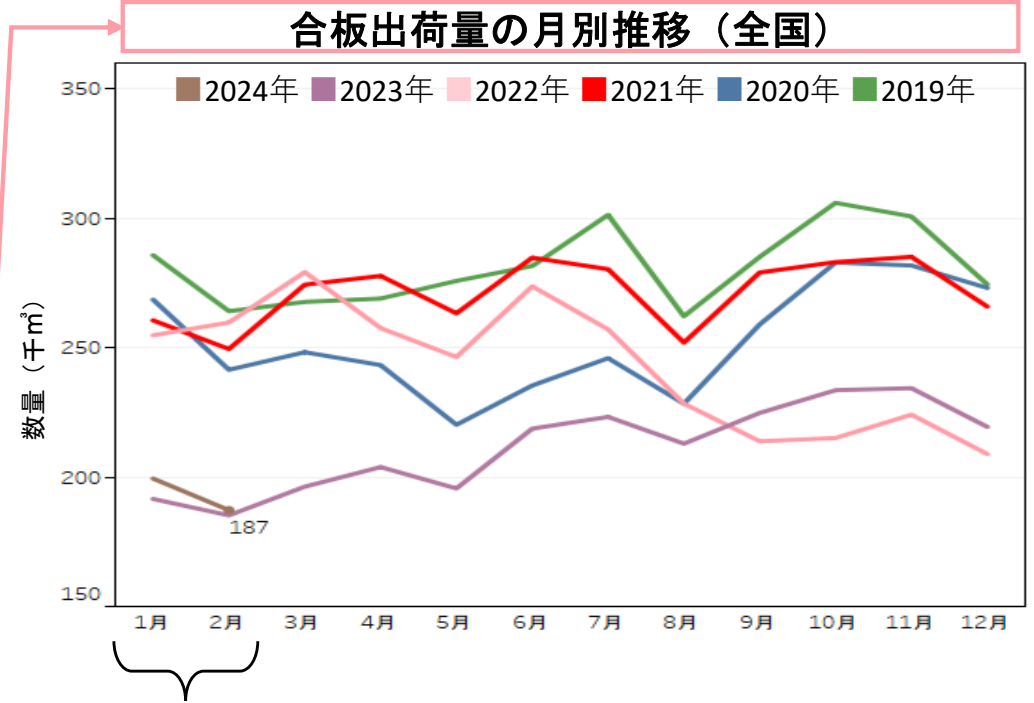
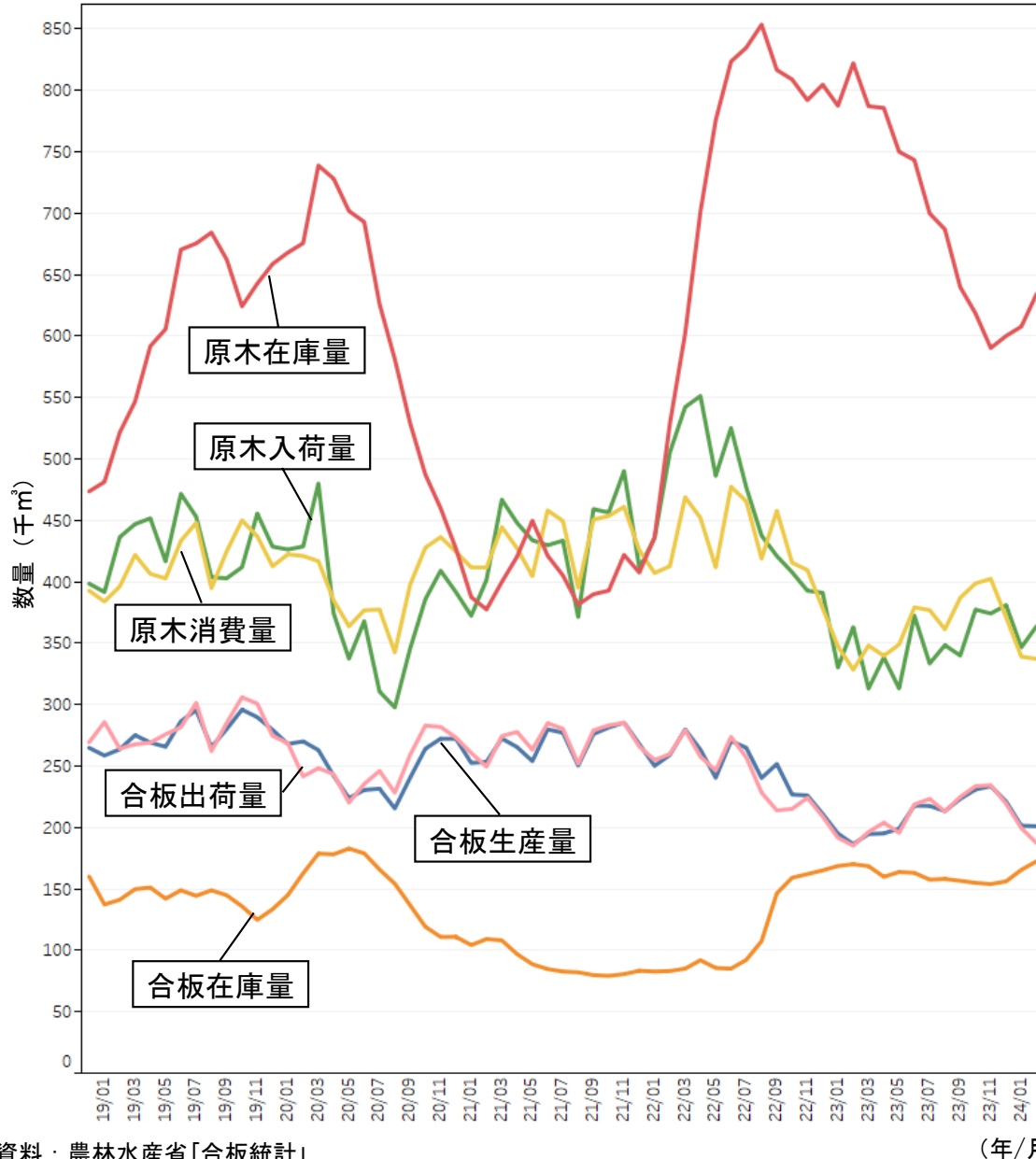


	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1～2月原木入荷量合計(千m ³)	2,808	2,715	2,441	2,630	2,604	2,459
2019年との比較*	-	97%	87%	94%	93%	88%
1～2月製材品出荷量合計(千m ³)	1,442	1,355	1,265	1,305	1,281	1,199
2019年との比較*	-	94%	88%	90%	89%	83%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(2) 合板 (全国)

- 2024年1～2月の原木の入荷量は710千 m^3 (2019年比86%)。
- 同様に合板の出荷量は387千 m^3 (2019年比70%)。

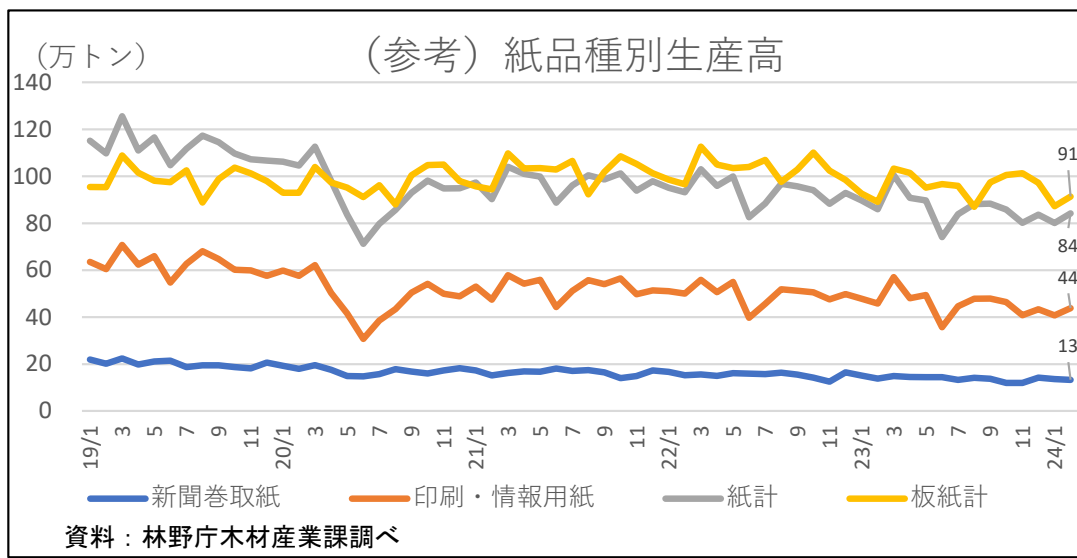
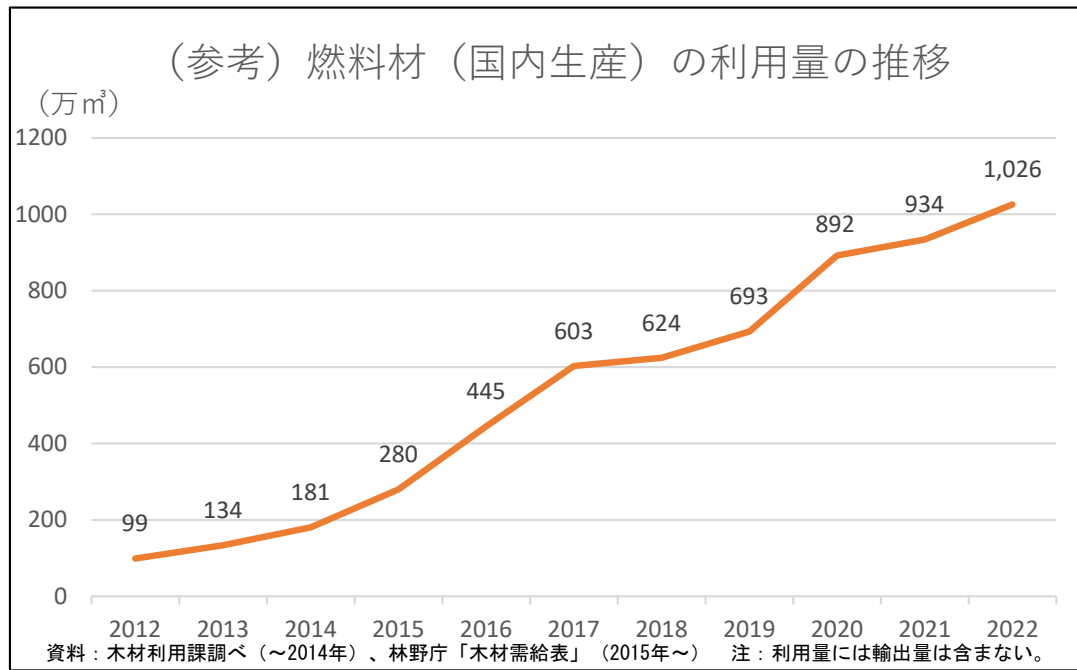
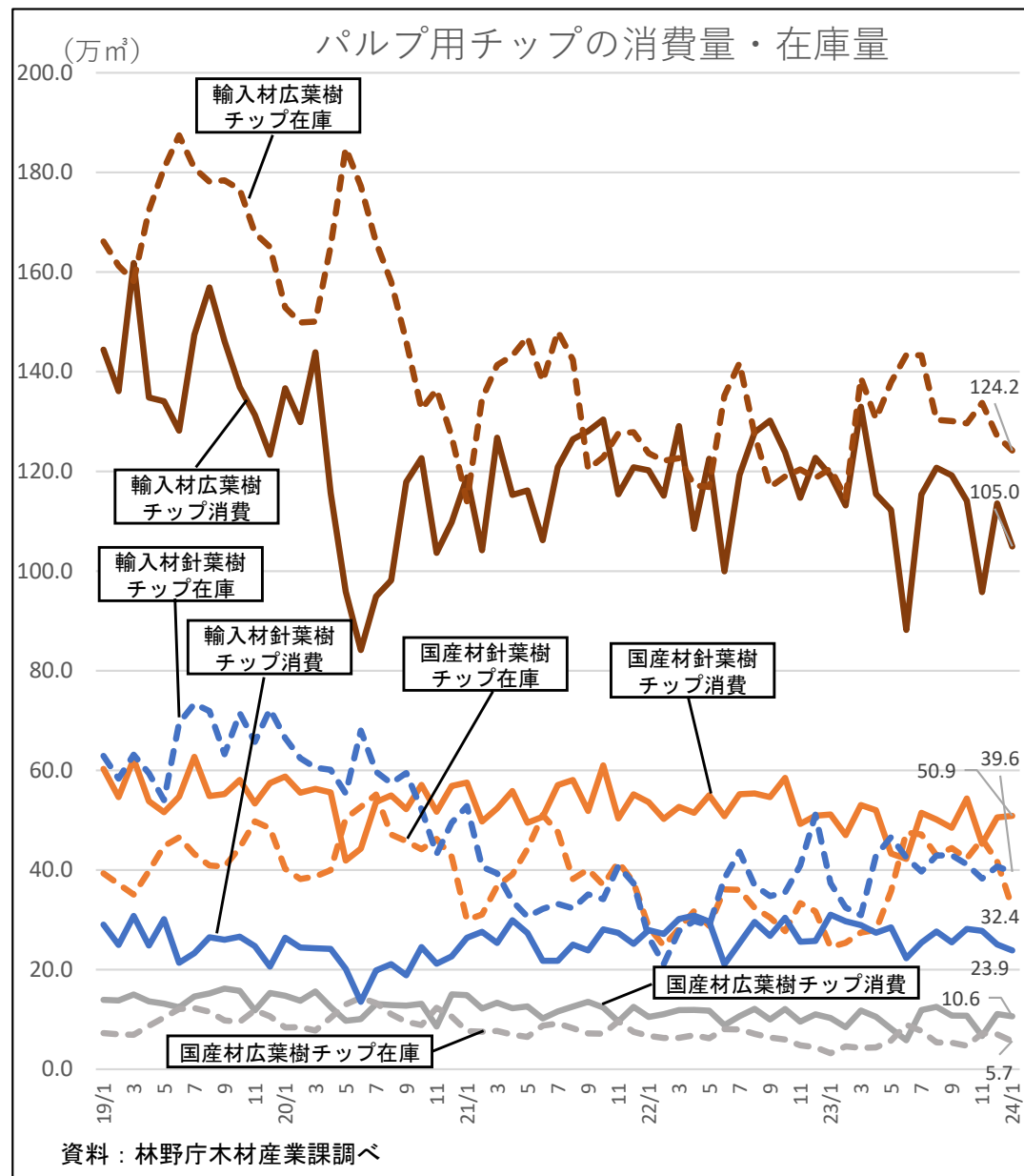


	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1～2月原木入荷量合計(千 m^3)	828	855	774	941	693	710
2019年との比較※	-	103%	93%	114%	84%	86%
1～2月合板出荷量合計(千 m^3)	550	510	510	515	377	387
2019年との比較※	-	93%	93%	94%	69%	70%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(3) チップ (全国)

- パルプ用チップの消費について、2024年1月の輸入材広葉樹チップの消費量は105.0万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は50.9万 m^3 となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約10倍）。

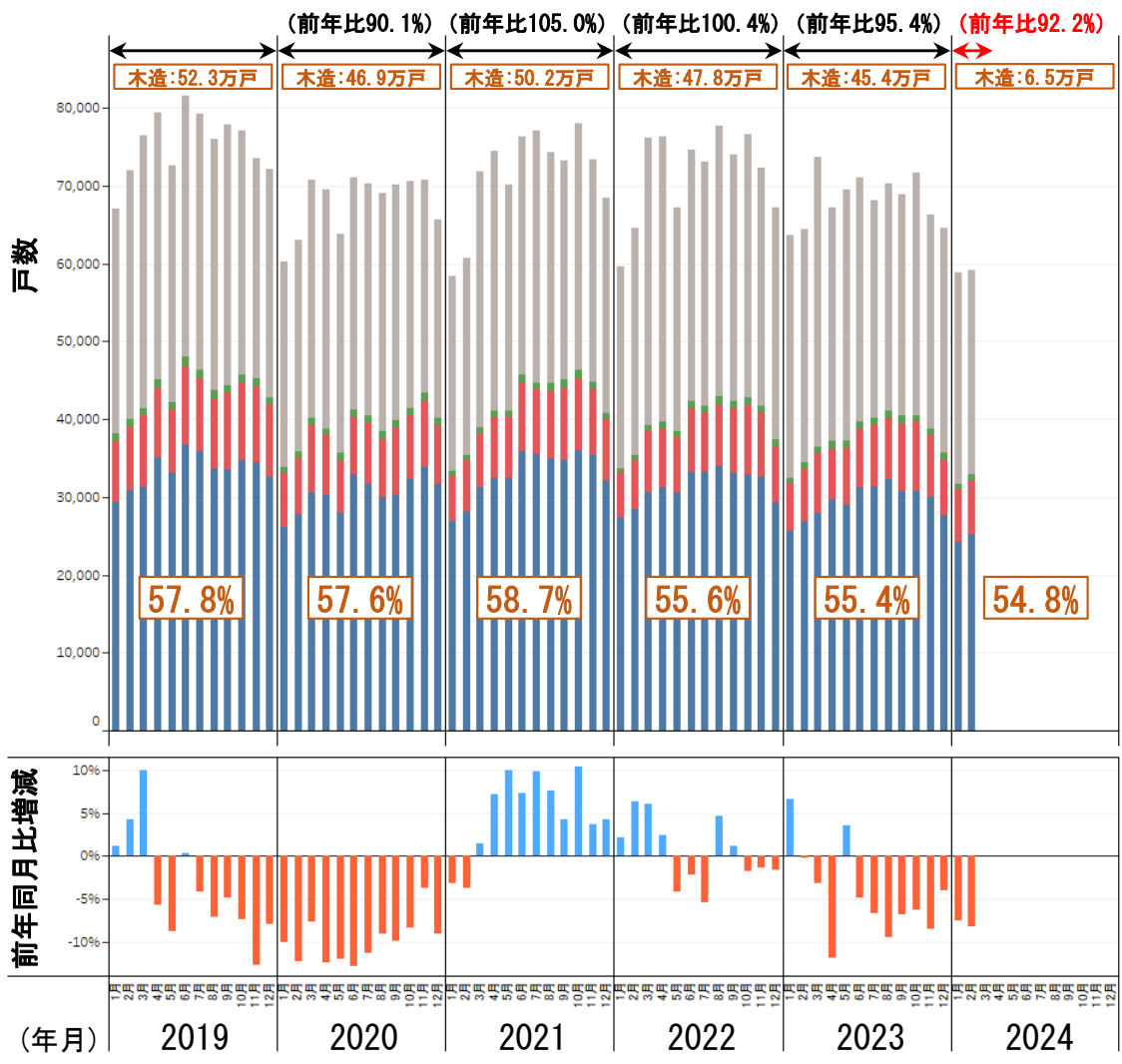


3 住宅着工戸数の動向（2019年2月～2024年2月）

- 2023年の新設住宅着工戸数は、82.0万戸（前年比95.4%）、このうち木造住宅は45.4万戸（同95.1%）となり、2022年の水準を下回った。
- 2024年2月の新設住宅着工戸数は、11.8万戸（前年同期比92.2%）、このうち木造住宅は6.5万戸（同96.5%）。

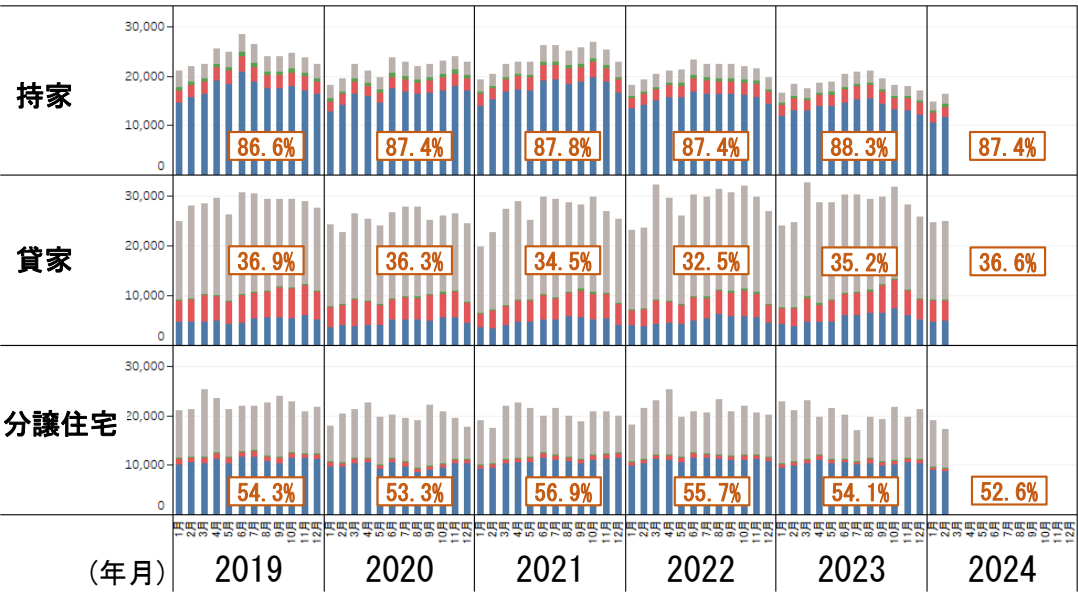
新設住宅着工戸数の推移

90.5万 81.5万 85.6万 86.0万 82.0万 11.8万
 (前年比90.1%) (前年比105.0%) (前年比100.4%) (前年比95.4%) (前年比92.2%)



構造別の着工戸数	2024年 2月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	118,011	128,030	92.2%	124,304	94.9%
■非木造	53,328	61,031	87.4%	55,183	96.6%
木造	64,683	66,999	96.5%	69,121	93.6%
■木造プレハブ	1,490	1,527	97.6%	1,263	118.0%
■2×4	13,734	12,911	106.4%	12,048	114.0%
■在来軸組	49,459	52,561	94.1%	55,810	88.6%
□木造率	54.8%	52.3%		55.6%	

(参考) 利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）

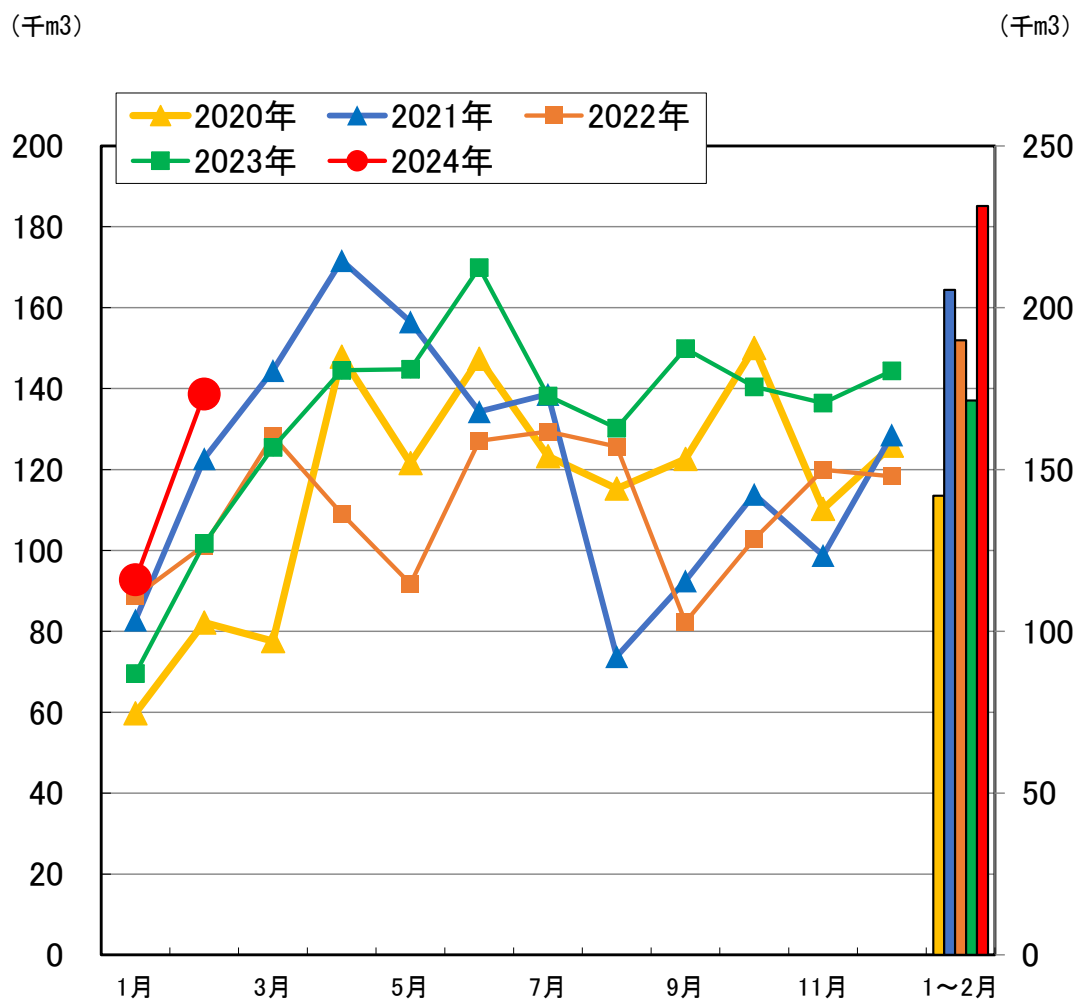


資料：国土交通省「住宅着工統計」

4 木材輸出量

・ 2024年1～2月の木材輸出量は、丸太231千m³（前年同期比135%）、製材18千m³（前年同期比111%）、合板14千m³（前年同期比89%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計
※四捨五入により、数値が合わないことがある

○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	2月 単月			1～2月累計		
	主要品目内訳(千m3) 前年比(%)			主要品目内訳(千m3) 前年比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	125 148%	4 109%	0 138%	205 147%	7 113%	1 262%
韓国	7 77%	1 80%	0 50%	14 76%	1 100%	0 9%
台湾	6 74%	1 116%	0 —	11 91%	3 133%	0 —
米国	0 —	3 85%	0 —	0 —	5 112%	0 0%
フィリピン	0 —	1 65%	9 86%	0 —	1 77%	14 87%
その他	1 2348%	1 50%	0 44%	1 —	1 36%	0 78%
総計	139 136%	9 98%	9 87%	231 135%	18 111%	14 89%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千m ³) 1～2月	比率 1～2月
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	30.6	13.2%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	3.6	1.6%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	0.7	0.3%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	3.5	1.5%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	1.8	0.8%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	3.1	1.3%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	66.8	28.9%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	121.3	52.4%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

※木材の集荷範囲とは対応していない